

※実務経験のある教員による授業科目

**授業概要**

カウンセリング心理学は、心理的な悩みや問題の解決と幸せな生活を送るための援助を行えるように、カウンセリングや様々な心理学に関する知見を集めた学問です。援助・相談を行うための基本的なカウンセリングの知識と技術を学び、子どもの発達を適切に支援するための基礎力を高めることが本授業の目的です。

公立学校や教育センターでの教育現場での実務経験を活かし、カウンセリングや心理療法の技法や支援方法について理解するため、ロールプレイや模擬カウンセリングを通して具体的な相談支援の方法を学べるようにします。カウンセリングを学ぶことによって、子どもへの援助力だけでなく、自己理解を深め、他者への共感や自身の生きる力を養うきっかけにしてほしいと考えています。

**授業計画**

第 1 回	発達臨床心理学とは：人間理解と援助を考える
第 2 回	SGE と基礎的エクササイズ
第 3 回	ピアヘルピングの関係領域
第 4 回	カウンセリングに求められる基本的な技法（自己理論）
第 5 回	カウンセリングの実際（精神分析理論）
第 6 回	カウンセリングの実際（行動理論）
第 7 回	カウンセリングの実際（家族システム理論）
第 8 回	ヘルピングの技法：非言語的技法
第 9 回	模擬カウンセリング①：傾聴法
第 10 回	模擬カウンセリング②：明確化
第 11 回	問題解決のプロセス①：質問法
第 12 回	問題解決のプロセス②：問題の対処と明確化
第 13 回	ピアヘルピングにおける倫理的配慮
第 14 回	対話上の諸問題への対処法
第 15 回	ピアヘルピングを考える
第 16 回	総まとめ（定期試験）

※受講者の興味関心や進度に応じて一部変更を行う場合があります。

**到達目標**

カウンセリング心理学とその隣接領域およびカウンセリングの基本的な知識と理論を習得する  
様々なカウンセリングの技術を体験的に学び、援助・相談に乗るための基礎技能を習得する

**履修上の注意**

- ・本授業は日本教育カウンセラー協会認定資格である「ピアヘルパー」の受験に必要な一科目としての性格をもちます。
- ・原則20分以上の遅刻は欠席、遅刻は3回で1回の欠席とします。6回以上の欠席は、成績評価の対象外とします。
- ・小課題やディスカッション課題などを適宜行います。
- ・注意事項について初回の授業時に伝えるため、初回授業には必ず出席してください。

**予習復習**

復習を中心にしてください。授業の復習を身に着けるように心がけてほしいです。

**評価方法**

授業態度・参加度（20%）、小レポートやペーパー提出（30%）、定期試験（50%）、これらを踏まえての総合評価

**テキスト**

ピアヘルパー標準テキストとしては以下の通り。

日本教育カウンセラー協会編 2001 ピアヘルパー・ハンドブック 図書文化社

日本教育カウンセラー協会編 2002 ピアヘルパー・ワークブック 図書文化社

いずれも 1500 円＋税

その他適宜紹介します。